

## 標準テキストの目次と講座の関連整理

- 研修の体系を検討するにあたり、その参考として、「防災に関する標準テキスト」（平成 19 年 3 月）の目次と今回の防災スペシャリスト養成研修で実施した講座（単元）の関連を、別紙のとおり整理した。

（注）「防災に関する標準テキスト」は、「防災に関する人材の育成・活用専門調査会」（平成 15 年）において示された防災担当職員の人材育成・活用のための具体的な施策を踏まえて、国・地方公共団体の防災担当職員を対象に、その業務を行うにあたって修得しておくべき知識等についてテキストとして取りまとめたものである。

(別紙) 標準テキストの目次と講座の関連整理

資料6 (別紙)

標準テキストの目次
防災スペシャリスト養成研修の単元(講座)
事務局案として、必要な知識と考えられる項目

青:一般コース 緑:中堅コース 赤:幹部コース 紫:総合コース  
 △:複数の講座でカバー 空欄:該当講座なし

標準テキスト目次 + 研修単元(講座)						防災スペシャリスト講座						
編	章	節	項	テキスト(目) / 単元の目的	No.	1	2	3	4			
知識編	第1章 災害・防災を理解するための枠組み	1.1 知識編の位置づけ				1						
		1.2 災害発生のしくみ	1.2.1 災害素因と災害誘因			2	△					
			1.2.2 災害誘因分類の枠組み			3	△					
			1.2.3 被害抑止力と被害軽減力			4	△					
			1.2.4 クライシス・マネジメント			5	△					
			1.2.5 わが国の災害誘因の現況	(1)地震・津波	(1)地震・津波	6	災害発生のメカニズム「地震火災被害」	災害発生のメカニズム「津波」				
				(2)大雨・台風	(2)大雨・台風	7	災害発生のメカニズム「風水害」					
				(3)土砂災害	(3)土砂災害	8	災害発生のメカニズム「風水害」					
		(4)火山噴火		(4)火山噴火	9	—						
		(5)豪雪		(5)豪雪	10	—						
		竜巻	竜巻	11	災害発生のメカニズム「竜巻」							
		(6)大規模事故・テロ	(6)大規模事故・テロ	12	—							
		1.2.6 災害による被害			13	△						
	1.3 災害過程	1.3.1 災害過程とは何か	(1)社会現象としての災害	(1)社会現象としての災害	14	△						
			(2)災害過程の理解の必要性	(2)災害過程の理解の必要性	15	△						
			(3)災害エスノグラフィー	(3)災害エスノグラフィー	16	組織マネジメント(演習)「エスノグラフィー」						
		1.3.2 生活を建てなおしていくための4つの段階	(1)第1の段階 失見当	(1)第1の段階 失見当	17	△						
			(2)第2の段階 被災地社会の成立	(2)第2の段階 被災地社会の成立								
	(3)第3の段階 災害ユートピア	(3)第3の段階 災害ユートピア										
	(4)第4の段階 現実への帰還	(4)第4の段階 現実への帰還										
	1.3.3 災害過程の全体像	(1)失見当期:被害の全体像がつかめ、不自由な暮らしを覚悟する	(1)失見当期:被害の全体像がつかめ、不自由な暮らしを覚悟する	18	△							
		(2)災害ユートピア期:「安全」になるためのさまざまな復旧活動	(2)災害ユートピア期:「安全」になるためのさまざまな復旧活動									
	(3)現実への帰還期:家計への震災の影響がなくなり、自分が被災者だと意識しなくなるときにこの時期が終わる	(3)現実への帰還期:家計への震災の影響がなくなり、自分が被災者だと意識しなくなるときにこの時期が終わる										
	(4)地域経済が震災の影響を脱したと感じたのは震災10年後	(4)地域経済が震災の影響を脱したと感じたのは震災10年後										
	(5)家屋被害程度が大きい被災者は、被災者から抜けられない	(5)家屋被害程度が大きい被災者は、被災者から抜けられない										
	1.3.4 社会全体の復興	(1)復興に至る3種類の再建過程	(1)復興に至る3種類の再建過程	19	△							
		(2)生活再建課題7要素	(2)生活再建課題7要素									
	○ 災害関連法制	災害法体系	災害法体系	災害対応にあたって使える権限・財源を理解する。災害対策基本法・災害救助法の守備範囲を理解する	20	防災対策の基礎「災害法体系」						
			危機管理法	危機管理に関連する災害対策基本法などの法体系を理解し、危機対応時の権限や財源を学ぶ	21	災害対応総論「危機管理法」						
			災害救助法	平成23年度台風12号における災害救助法適用事例から災害救助法の理解を深める	22	災害対応各論「災害救助法」	災害対応各論「災害救助法」					
震災関係法令			大規模地震対策特別措置法、東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法等の震災関係法令について理解する	23	—							
復興法制			東日本大震災後に公布された東日本大震災復興基本法をはじめ復興に関係する法体系を理解し、最新の国の復興施策について学ぶ	24	災害対応総論「復興法制」							
その他災害関係法令			水防法、土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律、活動火山対策特別措置法、原子力災害対策特別措置法等の災害関係法令について理解する	25	—							
○ 防災計画・マニュアル	地域防災計画	地域防災計画	地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を理解する	26	防災対策の基礎「減災社会を築く〜地域防災計画と防災の現場から」							
		BCP	各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する。職場の労働安全管理についても言及する	27	災害対応総論「BCP」	災害対応総論「BCP」						
		災害対応マニュアル	災害対応上効果的なマニュアルの要件、作成方法、マニュアルの活用方法、検証・更新方法等について理解する	28	—							
1.4 災害対応における組織運営の枠組み	1.4.1 災害対応組織編成の基礎	(1)災害対応組織の構成	(1)災害対応組織の構成	29	組織マネジメント「基本理論」	組織マネジメント「基本理論」	組織マネジメント「海外の組織マネジメント」					
		(2)自治体の災害対応組織の基本型	(2)自治体の災害対応組織の基本型									
	1.4.2 大規模組織の対応体制	(1)災害対応組織の展開	(1)災害対応組織の展開	30	組織マネジメント「基本理論」	組織マネジメント「基本理論」	組織マネジメント「海外の組織マネジメント」					
(2)直接指揮できる人数		(2)直接指揮できる人数										

標準テキスト目次 + 研修単元(講座)					防災スペシャリスト講座				
編	章	節	項	テキスト(目) / 単元の目的	No.	1	2	3	4
知識編	第1章 災害・防災を理解するための枠組み (つづき)	1.4 災害対応における組織運営の枠組み (つづき)	1.4.3 災害対策本部の空間配置		31	組織マネジメント(演習)「本部空間配置」	総合的防災演習「本部空間配置」		
			1.4.4 災害対応組織運営の基礎	(1)責任担当期間 (2)業務の引き継ぎ	32	組織マネジメント「基本理論」	組織マネジメント「基本理論」	組織マネジメント「海外の組織マネジメント」	
			目標管理	目標管理型災害対応の考え方やその具体的な内容について、過去の災害事例を踏まえ理解する。	33	組織マネジメント「目標管理」			
			トップマネジメント	トップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ。	34	組織マネジメント「トップマネジメント」			
			職員非常参集	参集に係る実態と問題点、参集時に行うべきこと、参集時の心得、参集できない場合の対応等について理解する	35	—			
			職員の健康管理等	災害時における職員の勤務実態、職員の健康管理等に係る実態と問題点、災害時におけるローテーション体制の早期導入の必要性、メンタルヘルスケアの必要性等について理解する	36				
			ロジスティックス	会議室、記者会見場所の確保、各種資料の作成、応援者の配置、食料、寝具等の確保等について理解する	37	—			
			AAR	災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める。対応記録の重要性についても言及する	38	組織マネジメント「AAR」			
	1.5 災害対応における情報処理の枠組み	1.5.1 災害時の情報処理		39	防災対策の基礎「防災情報システム」	災害対応総論(演習)「情報処理～災害対応における地理空間情報等の活用」	組織マネジメント「情報処理・情報共有」	総合的防災演習「演習導入」、「情報処理・対策本部運営演習」、「検証・講評」	
		1.5.2 対応計画の立案	(1)対応計画のフォーマット (2)対応計画策定に必要な4つの情報	40	組織マネジメント「情報処理・情報共有」	総合的防災演習「演習導入」、「情報処理・対策本部運営演習」、「検証・講評」	組織マネジメント「対応検討」	組織マネジメント(演習)「対応検討」	
		1.5.3 災害対策本部会議の進め方		41	組織マネジメント「情報処理・情報共有」	総合的防災演習「演習導入」、「情報処理・対策本部運営演習」、「検証・講評」			
		防災情報システム	庁内や関係機関、住民との情報(被害、避難勧告、地理情報等)共有や広報手法について学ぶ。情報システムの紹介とともに、アナログ手法の有効性にも言及する	42	防災対策の基礎「防災情報システム」	災害対応総論(演習)「情報処理～災害対応における地理空間情報等の活用」	防災対策の基礎「災害情報」	防災対策の基礎「災害情報」	
		情報処理・情報共有	災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	43					
	1.6 災害誘因情報理解のための基礎知識	1.6.1 地震に関する情報	(1)地震の規模 (2)地震の揺れの大きさ (3)地震の揺れの周波数特性	44	災害発生メカニズム「地震火災被害」				
		1.6.2 津波に関する情報	(1)津波の規模 (2)津波の高さ(波高)	45	災害発生メカニズム「津波」				
		1.6.3 風水害に関する情報	(1)降雨の強さ (2)風の強さ (3)台風 (4)洪水の規模 (5)氾濫の規模	46	災害発生メカニズム「風水害」				
		1.6.4 土砂災害に関するハザード情報		47	災害発生メカニズム「風水害」				
		1.6.5 火山に関するハザード情報	(1)火山の活動度 (2)火山情報 (3)火山現象の種類 (4)火山現象の規模 (5)各火山現象に伴う被害 (6)火山ガス	48	—				
		竜巻に関する情報		49	災害発生メカニズム「竜巻」				
					49	災害発生メカニズム「竜巻」			
	○ 災害の社会的影響	地震と建物・火災被害	地震動及び地震火災による建物被害を理解し、自治体の対応を学ぶ	50	災害発生メカニズム「建物被害とインフラ被害」				
		災害過程・被災者生活	災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する。災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージする	51	災害の社会的影響「災害過程・被災者生活」	災害の社会的影響(演習)「災害過程・被災者生活」			
		都市巨大災害	都市型災害の特徴を事例を通じて理解するとともに、将来に懸念される首都圏直下型地震など都市巨大災害の影響を学ぶ	52	災害発生メカニズム「都市巨大災害」	災害発生メカニズム「都市巨大災害」			
		地震災害史	過去の震災が歴史に与えた影響を学び、現代の社会で懸念される震災の様相を予測し、備える方法を学ぶ	53	防災の動き「地震災害史」				
	○ 予防対策の基本	防災まちづくり	耐震化技術と室内安全対策について理解を深め、これらの被害軽減効果と具体的な普及促進のあり方について学ぶ	54	災害対応各論「防災まちづくり」				
	○ 災害対応の基本	危機管理の基本的な考え方	危機管理の基礎的な考え方と実務上のとらえ方を理解する	55	防災対策の基礎「危機管理総論」				
		初動期対応	初動対応時の対応と課題について理解を深める	56	災害対応総論「初動期対応」	災害対応総論「初動期対応」			
		応急期対応	応急対応期の対応と課題について理解を深める	57	災害対応総論「応急期対応」	災害対応総論「応急期対応」			
		復旧・復興期対応	復旧・復興期の対応と課題について学ぶ	58	災害対応総論「復旧・復興期対応」	災害対応総論「復旧・復興期対応」			
		都市復興	阪神淡路大震災や東日本大震災などの被災地における復興過程と様々な取り組みを学ぶ	59	災害対応各論「都市復興」				
事例(大規模災害)		過去の大災害において災害対応業務に従事された方の経験談から教訓を学ぶ	60	防災の動き「東日本大震災の初動対応とその教訓」	防災対策の基礎「大規模災害における行政対応の実態」				

標準テキスト目次 + 研修単元(講座)					防災スペシャリスト講座				
編	章	節	項	テキスト(目) / 単元の目的	No.	1	2	3	4
知識編	● 災害対応業務の基本的な知識と活動要領	○ 災害時医療・保健	医療活動	災害現場の医療活動体制について理解を深める	61	災害対応各論「医療活動」	災害対応各論「医療活動」		
			救助・救急、消火活動	救助・救急、消火活動に係る実態と問題点、被災地住民、自主防災組織による活動、ヘリ等の活用について理解する	62	—			
			保健衛生・防疫	し尿処理の計画的実施、廃棄物(ごみ)収集・処理方法、避難所の保健衛生・防疫活動等の活動について理解する	63	—			
			遺体処理	遺体安置・検視場所、物資(棺、ドライアイス等)の確保、自治体における体制、広域的な連携等の活動について理解する	64	—			
			健康危機管理	被災住民の健康危機に対する行政の支援について理解を深める	65	災害対応各論「健康危機管理」			
			こころのケア	災害発生初動期の被災者に対する接し方及び災害対応業務を行う上でのマインドケアについて	66	災害対応各論「こころのケア」			
		○ 災害時輸送	交通計画	災害時における交通計画や道路啓開の仕方、都市構造について学ぶ	67	災害対応各論「災害時の交通対応策」			
			救援物資物流	災害直後から被災者の生活支援のための物流対応について、自治体担当部署のみならず民間運送会社などの能力も活用した実践的な事例を学ぶ	68	災害対応各論「救援物資物流」	災害対応各論「救援物資物流」		
			緊急輸送	緊急輸送に関して各防災関係機関が有する計画・資源・装備等の概要、関係団体との連携等について理解する	69	—			
			航空活動と安全確保	ヘリの活動条件(ヘリによる搬送の能力、ヘリポートの整備状況等)、航空安全確保策等について理解する	70	—			
		○ 避難関連	避難行動	災害種別ごとに異なる避難行動のタイミングと避難が困難な要援護者への対応について学ぶ	71	災害対応各論「避難行動」			
			避難所の運営・管理	施設管理者との連携、避難者による運営組織、プライバシー確保の重要性について理解する	72	—			
			帰宅困難者対応	帰宅困難者の発生により想定される混乱等、帰宅困難者に対する情報提供のあり方、行政・輸送機関・事業所における取組み状況、対策の方向性 等について理解する	73	—			
			給食・給水活動	給食、給水に係る実態と問題点、効果的な給食、給水方法、炊き出し体制、通水施設の優先順位の考え方 等について理解する	74	—			
			応急仮設住宅等の確保	災害時の住宅確保に係る実態と問題点、応急仮設住宅設置時の留意点、公営住宅等のあわせん等のあり方 等について理解する	75	—			
		○ 二次災害の防止	被災建築物の応急危険度判定	応急危険度判定の実施方法・体制の確立、判定基準 等について理解する。	76	—			
			がれき処理	災害時のがれき処理に係る実態と問題点、一時集積場所・最終処分場の選定、管理、環境対策 等について理解する	77	—			
		○ 連携・広域応援	各防災機関の役割と行動概要	政府、地方公共団体、実動機関等の防災機関、指定公共機関、ボランティア、その他民間の役割を理解するとともに、各組織の災害対応の一連の流れ、活動例等について理解を深める	78	—			
			自衛隊連携	行政と自衛隊の連携について理解を深める	79	災害対応各論「自衛隊連携」	災害対応各論「自衛隊連携」		
			自治体連携	災害時の被災自治体の対応において、広域連携のあり方について理解を深める	80	災害対応各論「広域連携」	災害対応各論「広域連携」		
			ボランティア	NGO/NPOに対する理解を深め、災害支援における民間と行政の連携について学ぶ	81	災害対応各論「ボランティア」			
			企業連携	災害時の被災者支援における、行政と民間企業との連携について理解する	82	災害対応各論「企業連携」			
		○ ライフライン	ライフラインの復旧	電気・電話・ガス・水道など災害時のライフラインの復旧について理解を含め、課題を学ぶ	83	災害対応各論「インフラ」			
		○ 災害時要援護者	災害時要援護者支援	平常時から発災後の要援護者支援に関する基礎的な考え方と実務を学ぶ	84	災害対応各論「災害時要援護者」	災害対応各論「災害時要援護者」		
		○ 広報・広聴	リスクコミュニケーション	人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を理解する	85	災害対応総論「広報」	災害対応総論「広報」		
			広報	災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ	86	災害対応総論「広報」	災害対応総論「広報」		
			問い合わせ対応、相談窓口	被災者等からの安否確認等の問い合わせに係る実態と問題点、被災者等からの問い合わせ窓口、相談窓口の設置、安否確認システム等について理解する	87	—			
		○ 自発的支援の受入	義援金品の受付・配分	災害時の義援物資による混乱の実態、義援物資による混乱を回避する方法、義援物資の効果的な活用方法、義援金の効果的な受付・配分方法のあり方 等について理解する	88	—			
			海外支援の受入	受け入れの判断、受け入れ体制、「海外からの支援受け入れに関する関係省庁連絡会議申合せ」等について理解する	89	—			

標準テキスト目次 + 研修単元(講座)					防災スペシャリスト講座				
編	章	節	項	テキスト(目) / 単元の目的	No.	1	2	3	4
データ編	●マネジメントのための手法	○ マニュアル作成のための手法	業務フロー整理	災害対応をプロジェクトマネジメントの枠組みで理解し、実効性の高いマニュアルを作成するためのツール(業務分析、およびタイムラインの概念)を学ぶ	90	災害対応総論(演習) 「効率的な災害対応業務 業務遂行のための業務 フローの整理方法(座学 と演習)」			
			イメージトレーニング	阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	91	災害対応総論(演習) 「イメージトレーニング」			
	●実践的対応能力の向上のための研修・訓練	○ 研修・訓練の手法	災害エスノグラフィー	災害エスノグラフィーの手法を用いて記録した災害対応従事者等の経験を用いて、災害現場に居合わせた人々の視点から災害像をイメージし、災害という異文化への理解を深めるとともに、教訓や気づきを得る。また、災害エスノグラフィーの訓練手法についても習得する	92	組織マネジメント(演習) 「エスノグラフィー」			
			災害対応演習	危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ。対策の適否判断能力を養成する	93	災害対応各論(演習) 「災害対応演習」			
			図上訓練	各種の開発、提案されている「図上訓練」(①状況付与型訓練、②状況予測型訓練など)について、計画策定から実施、評価、改善までの組み立てから実施運営等の基本を理解し、実際にできるように身につける	94	総合的防災演習 「演習 導入」、「情報処理・対策本部運営演習」、「検証・講評」	災害対応各論(演習) 「災害対応演習」		
			その他の手法	プレス発表場面や、災害対策本部事務局に殺到する安否問合せ電話への対応場面等、災害時の特定の状況に焦点を当てた訓練・研修を行う	95	—			
	●最新動向	○ 最新動向	危機管理施策の最新動向	最新の国の災害、危機管理施策について理解する	96	防災の動き 「東日本大震災の初動対応とその教訓」			
			防災施策の最新動向-台風・大雨・竜巻に関する情報活用-	東日本大震災の経験を踏まえて、最新の国の災害対応体制について理解する	97	防災の動き「防災対策の動向-台風大雨竜巻に関する情報活用」			
	●制度の変遷	1.7 災害対応のポイントと制度の変遷			98	△			